

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 2月25日

事業所名 サポートセンター ら・フロレゾン

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・子どもの人数に対する広さを確保しています。活動内容に応じて安全に取り組めるようにしています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		・職員数は配置基準を満たしています。	・配置基準は満たしていますが、子ども一人ひとりと向き合う時間や手厚い支援をこれまで以上に確保できたらと思います。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・視覚支援を取り入れ、理解しやすいように努めています。必要に応じて個別に対応する等、環境設定の工夫を行っています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・毎日、活動前後の整理整頓、清掃を行っています。感染症対策として、検温、こまめな換気、消毒、加湿等を行っています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・朝礼で活動の打ち合わせ、活動の反省を行っています。また、子どもの状況については、その都度、話し合いをし、情報共有に努めています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・保護者の評価表にいただいた意見を踏まえながら改善していきます。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・令和2年7月開所であり、今回より公開となります。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・第三者による外部評価は受けていません。今後、法人内で検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・外部研修への参加を行っております。	・今後は定期的に専門家の指導を受け、支援の向上に努めます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・保護者からの聞き取りを参考にアセスメントを行い、支援計画を作成しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		・今後は、公認心理士による発達検査を実施予定です。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・支援計画作成時には、会議を実施し、職員で意見を出しながら支援を検討しています。支援内容は、発達段階に合わせた内容になるように努めています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・職員間で支援方法を共有して支援しています。モニタリングを行い、支援計画に沿って支援ができているか振り返りを行っています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・毎日指導案を作成しています。活動については、毎月話し合いをし、内容の見直しや立案を行っています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・同じ活動であっても、発達段階に応じて、内容を変更し、固定化しないように努めています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○		・活動の前半は、個別活動の時間。集団活動では、友達との関わりを学べる活動やルール遊びなどの組み合わせを取り入れ作成しています。	

適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・活動の流れの確認や職員の各役割等を話合っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・支援、活動の振り返りを行い、その都度共有を行っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・日々の様子は、支援日誌に記録を残しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・定期的にモニタリングを行い、個別支援会議を開催しています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・担当者会議へは、主に児童発達支援管理責任者が参加しています。会議後は、職員間で情報の共有に努めています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		・現在、医療的ケアの必要なお子様はおられません。	・利用される場合は、医師の指示等のもと、お子さまが安全に活動に参加できるように支援していきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		・現在、医療的ケアの必要なお子様はおられません。	・利用される場合は、お子さまの主治医や協力機関等と連絡体制を整えています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・通園先の幼稚園、保育園に対して、送迎時を通して、お子さまについての支援内容や様子について相互理解を図っています。また、就学・就園する際には情報提供を行います。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			・次年度より、年長さんのお子さまがいますので、実施していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・他事業所への見学や研修をさせていただき、ご助言をいただいています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			・ご利用されているお子さまは併行通園されている方が多い為、特別な交流は行っておりません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			・今年度は参加の機会がありませんでした。機会があれば積極的に参加していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・登園、降園時に事業所、家庭での様子の情報交換を行っています。往復、送迎のお子さまは、連絡帳を利用しています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	○			・次年度より、外部から講師を招いて、年に数回実施予定です。

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・見学や利用契約の際にご説明しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・個別支援計画にて説明を行い、同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・相談を受けた際は、すぐに対応できるように努めています。また、必要に応じて、他機関との連携も図っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			・保護者の方々が情報交換できる場の提供等、実施予定です。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・苦情については、第三者委員会を設置しております。契約時に説明しております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・「フロレゾンだより」を発行し、活動の様子を掲載しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・お子さまとのコミュニケーション手段としては、絵カード等の視覚支援を活用しています。 ・保護者とは、迎えに来られた際に個別に対応を行ったり、連絡帳にて情報伝達を行っています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・法人では夏祭り、運動会を行っています。	・今年度は法人行事は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努め、中止となりました。 ・フロレゾンでの地域の方々の招待する行事につきましては、見合わせ中です。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を作成し、職員間で共有しています。	・訓練を実施しています。今後は、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアルを保護者の方にもご覧いただけるように玄関に設置します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・避難訓練(火災・地震)の年間計画を立て実施しております。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・利用契約時に、聞き取りをさせていただいています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・現在、食物アレルギーのあるお子さまはおられません。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・ヒヤリハット報告書を作成後、職員間で共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・外部研修への参加や施設内での研修に取り組んでいます。 ・人権侵害防止の自己チェックリストの実施、人権侵害防止の書類への署名等、虐待防止のための意識向上に努めています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・身体拘束は行っていません。	